



志を立て 未来を拓く 心豊かな生徒の育成

三刀屋中学校だより

令和5年1月

TEL 45-2421

3学期～学年の締めくくり～

3学期が1月10日(火)から始まりました。3学期は1年間の締めくくりの学期であるとともに、次年度に向けての大切な準備の学期となります。3年生は、いよいよ次のステージに向けての大事な入学選抜試験があります。1月には推薦入試。2月には私立高校の入試。そして3月には一般入試と続きます。自分の夢に向かって最後の追い込みの時期ですので、あと一踏ん張り頑張りたいと思います。2年生は、3年生から生徒会を引き継ぎ、新しい体制で学校を引っ張っていくため大切な試運転期間です。自分のことだけではなく、学校全体を考えて動いてほしいと思います。1年生は、3ヶ月後には後輩が入り、早ければ6月からは部活動の中心として活動することになります。そのために、もう一度自分自身を振り返り学校生活や家庭学習を見つめ直す学期にしてほしいと思います。

三中～ハッピープロジェクト～

3年生の総合的な学習の時間に行ってきた、地域貢献活動が今月にすべてのグループの活動が終わりました。今までに行った活動の様子をサンホープで紹介していますので、来校の際にはぜひご覧下さい。この学習や活動を通して、ふるさと雲南のこと、自分の将来の姿について考えるきっかけになったのではないかと思います。また、事業所から感謝の声をいただき、やりがいを感じたことと思います。1年生、2年生も保育所、こども園、小学校から取り組んできたふるさと学習がどのようにつながっているか理解できたのではないのでしょうか。来年度以降も、生徒目線での地域貢献策に取り組んでほしいと思います。事業所の方々、地域の皆様ご協力ありがとうございました。



【体操服・制服の回収BOX】



【地域貢献策の掲示板】

【お知らせとお願い】

制服、体操服の回収ボックスが三刀屋中学校に設置されました。ご家庭で不要になった制服、体操服がありましたらご協力ください。補修、クリーニング、刺繍を交換したものが再利用されます。

生徒会役員 決定！

1月13日(金)に第1回生徒会活動があり、後期生徒会がスタートしました。後期生徒会の活動は、3ヶ月と短い期間ですが、これまでの先輩達の活動を引き継ぐとともに自分たちの新たな考えを具体的に活動に加えて、さらに『進化』した生徒会にしてほしいと思います。

《新しい生徒会役員》【敬称省略】

生徒会長	白 築 実 結	生徒会副会長	名 原 幸 輝
生徒会副会長	片 寄 由 捺	書 記	奥 井 大 翔
書 記	周 藤 佳 乃 子	会 計	岡 本 陽 翔
生活委員長	名 原 蒼 真	生活副委員長	福 留 昂 樹
美化委員長	中 村 涼 成	美化副委員長	岡 田 希 望
文化委員長	勝 部 結 南	文化副委員長	谷 戸 誉
図書委員会	山 根 絢 花	図書副委員長	鳥屋尾 美 優
体育委員長	菅 澤 夢 生	体育副委員長	宇都宮 日 向
保健委員長	宮 内 鈴	保健副委員長	板 垣 花 音
福祉委員長	高 原 健 人	福祉副委員長	須 山 蒼 菜
応援団長	坂 本 幹 太	応援副団長	渡 部 真 矢



【生徒会執行部】



【保健委員会】



【美化委員会】



【生活委員会】



【体育委員会】



【図書委員会】



【文化委員会】



【福祉委員会】



【今年度のスローガン】

多様化する入試制度

1月14日(土)、15日(日)の2日間、大学入学共通テストが実施されました。大学入試センター試験の頃は、いかに「早く、正確に、多くの問題を解く力」が求められていましたが、大学入学共通テストになってからは、思考力、判断力を重視した問題に変わってきました。資料や文章を読み込んで解答する問題が多く、読解力が強く求められています。また、大学入試も共通テストの成績を使わない方式の総合型選抜や学校推薦型選抜を設ける学校が多くなってきています。

この流れは、高校入試にも変化をもたらしてきました。12月23日の島根県教育委員会の資料によると、学習指導要領に示される「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向う力、人間性等」の資質・能力の3つの柱や、各高校が策定したグランドデザインにおける「求める生徒像」や「育てる生徒像」に対応した入試、中学生が多様な選択肢の中から主体的に高校を選び、その生徒一人一人の資質・能力を多面的・総合的に評価できる入学者選抜の改善を行なうとしています。この選抜入試制度は、現在の中学1年生の入試制度から実施される予定です。

(以下 島根県教育委員会資料抜粋)

①総合入学者選抜

- 中学校等の校長の推薦を必要としない「総合選抜」を新設
- 定時制・通信制課程を除き全ての全日制学科において実施
- 募集人員は、入学定員の10～40%程度までで各学校が設定
- 地域外入学制度(松江北高校、松江南高校、松江東高校、出雲高校4校の普通科)を撤廃

②スポーツ推進指定校入学者選抜の変更

- 中学校長の推薦を廃止し、中学校長や指導者等による活動実績の証明を求める

③特色入学者選抜における出願資格、提出書類、選抜検査

- 出願資格の要件に各高校が定める出願基準を設定
 - ・評定、学習活動、部活動、課外活動の実績、取得資格・検定等、各学校の学科ごとの要件等が異なる場合がある。

例) 医師志望であり、将来は医療に貢献したいと思う者

基準：学習の記録、評定平均4.0以上、数学・理科の2教科の評定平均4.5以上
行動の記録：「自主・自立」、「創意工夫」を重視

例) 農業後継者として、将来の農業を担う意欲のある者

基準：1つのことにしっかりと打ち込めること(例：生徒会活動、部活動等)
行動の記録：「基本的な生活習慣」を重視

○志望理由書の提出

- ・志望理由書の他に各高校が定める書類(課題レポートなど)の提出を求める場合がある

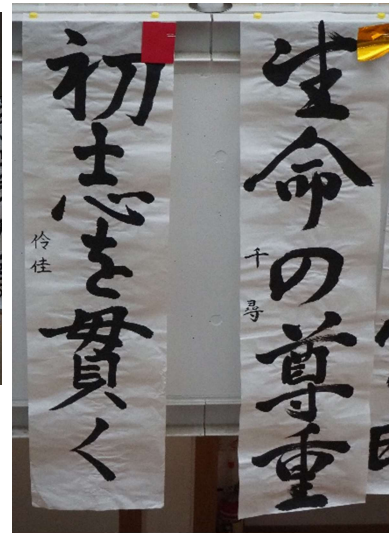
○各高校が定める選抜試験の実施

- ・面接または口頭試問、作文または小論文、プレゼンテーション、学力検査、実技、理科実験
英語スピーチなどから2つ以上を実施

このように令和7年(2025年度)の高校入試から変わります。希望する高校、学科によって選抜試験が違いますので、自分の将来を考え実現できる学校はどこか、そのためには何を身につけなければならないか、何が必要か等の対策が求められます。希望する学校の情報をしっかりと調べて対策をとる必要があります。

三刀屋中 書き初め展

本校のサンホープで、昨年に引き続き全校の書き初めを展示しています。全校の書き初めが一面に張られると壮観な眺めです。



【サンホープの書き初め】

校内審査を1月16日に実施し金賞6点、銀賞9点、銅賞11点が選ばれました。入賞した26点は県の書き初め展に出品します。

【入選作品】

書き初めは、平安時代に宮中で行なわれていた年始めに文書(吉書)を奏聞する「吉書の奏」が起源とされています。江戸時代には、新年に若水(元旦の早朝に初めて汲んだ水)で墨をすり、その年の恵方に向けて詩歌や文書を書く行事が行なわれ、明治時代に入ると学校の書道教育に取り入れられ現在に至っていると考えられます。新年の1月2日は“事始め”とされ、書きものや習い事、商いなど初仕事は「2日から始めると上達が早く長続きする」、15日前後の「左義長」(とんど焼き)で字を燃やした際に高く舞い上がると字が上達すると伝えられています。お正月といえば、歌にもあるように子どもの遊びは凧揚げ、コマ回し、家庭ではおせち料理、地域の行事ではとんど焼き等がありました。しかし、時代の流れやコロナ禍で、家族や親族、地域との交流の場が少なくなり、これまでの習慣がなくなっていくのが寂しい気がします。

三中写真展

今年度も三刀屋写真クラブの皆さんのご協力のもと12月12日(月)から16日(金)の5日間、本校の期末保護者面談に合わせて昇降口にて「三中写真展」を開催していただきました。



【三刀屋写真クラブの皆さんの作品】

四季折々の風景や花、夕日等の写真16点が展示されました。その中には、トンボが草に止まった瞬間を捉えた写真や家族や鳥の親子のほのぼのとした写真などあり、多くの生徒や教職員、保護『日本』のよさを感じることでできる写真展でした。

三刀屋中のホームページ随時更新中！ぜひご覧ください！<http://shimane-school.net/unnan/mitoya-chu/>